

つなげよう広げよう特別支援教育の輪

今年度の特別支援教育関連の3つの研修会を振り返ります。県南教育事務所では、今年度も奥州市立水沢南中学校指導教諭菊池義仁先生と一関市立山目小学校指導教諭高橋由紀子先生、県立前沢明峰支援学校と一関清明支援学校の先生方にも協力をいただき、特別支援教育関係の研修会を行いました。「共に学び、共に育つ」特別支援教育を支えている研修者の皆さんの熱心さにあふれる研修会でした。

特別支援教育新任担当教員研修 講座(6月8日(水)開催) 新任担当者悉皆研修

奥州市立前沢小学校と県立前沢明峰支援学校を会場に、新しく特別支援学級の担任、通級指導教室の担当になった先生方への研修を実施しました。

1 授業参観と研究協議

前沢小学校特別支援学級4学級のモデル授業公開

2 講義「障がいの基本的理解と『個別の教育支援計画』の意味と活用について」

3 協議「特別支援教育における日常の指導の問題点や悩み」

【研修者から】

- ・「見通しのある・あたかな・きめ細やかな」指導と活動一つ一つに対する適切な評価やアドバイスにふれ、先生方が熱意をもって指導され子どもたちを伸ばしていることが分かった。
- ・個別の教育支援計画と個別の指導計画の重要性を改めて感じることができた。前年のものを見直し、期日を決めて修正しなくてはと思った。
- ・協議では悩みを共有できたことによって不安がかなり軽くなった。他校の実践や助言を受け、自分自身の視野が広がった。個々の事例のアドバイスをはじめ、周りとの相談の大事さについてアドバイスをいただいた。

特別支援教育支援員等研修会 (6月14日(火)奥州地区) (6月25日(水)一関地区) 希望研修

奥州地区と一関地区の2会場で開催しました。特別支援教育支援員の年数に応じた2コースの講義を設けました。希望研修でしたが60名を超える参加がありました。

1 講義「障がいの基本的理解と望ましい支援の在り方」

講義「支援員の役割と望ましい支援の在り方」

2 グループ協議「望ましい支援の在り方」

【研修者から】

- ・講義では「支援のヒントは全て子どもの中にある」ことを実感し、子どもとのラポートづくりや信頼関係づくりをしながら支援していきたいと考えることができた。
- ・子ども一人一人が肯定感や達成感をもって生きていけるように児童に寄り添っていくことを忘れてはいけないと感じた。
- ・色々な観点から子どもを見ることや、担任の先生や特別支援教育コーディネーターの先生と連携し「どんな力をつけたいか」を考えながら支援していきたい。
- ・子どもが見通しをもって学べるような支援の工夫のアイデアをいただいたので実践したい。

特別支援教育コーディネーター 研修会(7月27日(月)開催) 希望研修

特別支援教育を推進する特別支援教育コーディネーターの先生方46名の参加がありました。

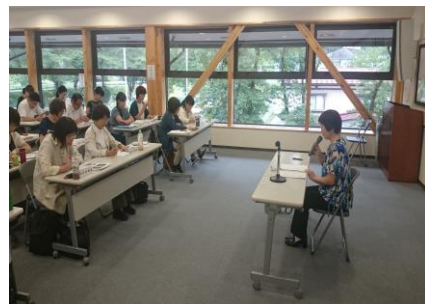
1 講義A「特別支援教育コーディネーターの役割」

講義B「『いわての特別支援教育推進プラン』の推進」

2 講義・演習「アセスメントと2学期の指導体制の充実」

3 事例紹介「個別の指導計画を基にした指導の実践」金ヶ崎町立金ヶ崎小学校 菅野フミ子教諭

4 協議「特別な支援を要する児童生徒への望ましい校内支援の在り方」



菅野フミ子教諭による実践事例紹介

【研修者から】

- ・就学や転学、高校入試についての配慮等について知ることができ、どのようにコーディネートしていくか見通しが持てた。
- ・「支援的な風土を作る」ということに、自分自身の目的を見出しました。「強み・弱み・無理なこと」をしっかりと把握することを校内で定着させたい。
- ・事例紹介での、児童の成長の足跡が分かる記録の作成、校内外の人的資源の活用、共通理解のもとに困り感を持っている児童を支援していく学校体制等が参考になった。

【速報値】平成28年度特別支援教育体制整備状況調査 個別の教育支援計画作成状況

特別支援学級設置校(通級指導教室も含む)

91.1%(82/90校)

個別の教育支援計画の作成率が9割を超えました。残り8校も今年度内に作成する予定です。作成済の学校も子供たちの輝く将来に向け、随時見直しをよろしく願います。